

事業者向け

児童発達支援/放課後等デイサービス自己評価表

2026sakae

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			運動療育を行っているので、他事業所よりも広いスペースを確保している。また、学習スペースも確保しています
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			基準上は適切であり、イベント等職員を多めに配置したい際には応援要請をしている
	3	生活空間は子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか	<input type="radio"/>			生活空間は構造化している。指定基準よりバリアフリー対象施設ではないが、事業所は2階にあるため、階段に手すりを設置している。部屋と部屋の間は多少の凹凸がある為、利用者へ小まめな声掛けとともに気になる箇所へ職員配置をしている
	4	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>			日々掃除しており、感染症対策として消毒も行っている また、湿度温度の管理を徹底している
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	<input type="radio"/>			刺激が多くなりすぎないように、学習の場所や静かな場所等、環境設定している
	6	設備等へ安全を配慮した措置がなされているか（電灯やガラスの飛散防止・柱へ衝撃吸収材の取付・階段手摺など）	<input type="radio"/>			電灯はLEDで飛散防止対策、窓は飛散防止フィルム、床にクッションマットの設置、ロッカーや靴箱の角にコーナーガードを設置している
業務改善	7	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			職員間でこまめに相談し、療育を進めている
	8	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			実施している。保護者や地域の皆様からのご意見を受け止め、支援に繋げていけるようにしている
	9	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			日々情報共有はしており、最低月に1回職員会議を行っている
	10	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	現在は実施していないが、今後検討していく
	11	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			実施している
	12	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			リモートで座学研修や運動研修を毎月取り入れ、レポートの提出をしている。また、その内容を職員と共有している

適切な支援の提供	13	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	○		作成しており、公表はHPで行っている
	14	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○		利用者の様子を把握しつつ、利用者と保護者のニーズに寄り添った個別支援計画作成をしている
	15	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○		行っており、記録も残している
	16	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	○		随時、確認や相談しながら支援している
	17	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	○		契約時に使用している
	18	個別支援計画には、児童発達支援／放課後等デイサービスガイドラインの「児童発達支援／放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のわらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		実施済み
	19	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		その日の利用者の様子、特性等を鑑みて立案を行っている。また、利用者の様子に合わせたプログラムを職員全員で週ごとに立案している
	20	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○		本部指導の月毎の支援内容を基軸に利用者のニーズも取り入れている。また、定期的にプログラムを変更し、利用者が積極的に参加できるように工夫をしている
	21	活動場面ごとに課題を決め、設定して支援しているか	○		全体の課題だけでなく、個別の課題も設定し、支援している
	22	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	○		日々の利用者の様子を職員と共有しながら、個別活動や集団活動を組み合わせることで作成している
	23	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	○		運動リーダーやブログ・送迎担当等、役割分担が多岐にわたるため、日々の確認は必須
	24	支援終了後には、職員間で打合せを行い、その日行われた支援を振り返り、気づいた点を共有しているか	○		利用者の様子やその日の変化などを職員間で共有し、次回の療育へ繋げている
	25	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		学校や保護者からの話も含め記録をとり、職員間で共有し、改善・支援に努めている
	26	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的な個別支援計画の見直しの時期に実施している
	27	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行っているか	○		行っている
	28	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか	○		行っている
29	安全に運動遊びができるよう用具の使用法や支援方法等に工夫や配慮をしているか？	○		常勤職員は運動指導員資格を取得し、安全に配慮しつつ運動支援方法を統一し、日々支援している	
30	お子さんの特性に合わせた支援方法を個々に工夫しているか？	○		個別支援計画やその日の利用者の状況、個々の特性に配慮し支援している	

関係機関や保護者との連携	31	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか	○		管理者や児童発達管理責任者を中心とし、地域の保健師や相談支援員と連絡を取り合っている
	32	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	○		体制は整えており、必要に応じて対応している
	33	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			現在までは該当者なし
	34	与薬指示書の内容に変更等がないかなど、定期的に保護者へ確認をとっているか	○		現在、常備与薬利用者はいないが、与薬がある際は必ず保護者に投薬依頼書に載していただき、確認をとっている
	35	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		必要に応じ、安心して併行利用や移行出来るように情報共有している
	36	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		契約時や送迎時に保護者の確認を得てから、関係機関との情報共有や相互理解に努めている
	37	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		送迎時に利用者の状況を共有し、連絡調整をしている
	38	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			現在までは該当なし
	39	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか	○		地域の自立支援協議会に参加。各専門機関と連携している。積極的に助言をいただき、研修がある際は参加している
	40	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		栄町自立支援協議会へ参加し、情報共有をしている
	41	保育所や認定こども園、幼稚園等、放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか	○		現在、保育所や児童クラブ等との交流はないが、地域の町民特別支援学校で行われるポッチャイイベント等に参加した
	42	連絡帳を作成し、保護者へ活動の内容や様子を共有できているか	○		連絡帳は、何かあった際のツールとして使用し、活動内容や様子に関しては、ブログや送迎時に説明している
	43	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳を始め、送迎時に利用者の様子を保護者へ伝え合い、共通理解できるよう努めている
	44	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	必要に応じて面談をし、自宅での利用者の支援方法を幾つか知らせているが、現時点ではペアレント・トレーニングを進めていない

保護者への説明責任等	45	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に資料を用いて説明している
	46	個別支援計画を作成する際には子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○		契約の際には契約時に、見直しの際には面談時に確認をしている
	47	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	○		行っており、保護者にサインをいただいている
	48	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		こまめに利用者の様子を保護者へ伺い、助言や必要に応じて支援方法を提示している
	49	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、兄弟同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか	○		今年度、家族参加型のパネルシアター鑑賞会を開催したが、感染症の時期と重なってしまった。次回は時期や内容を再考し、引き続き実施していく
	50	子どもや保護者からの苦情、相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情相談のポスターの教室内掲示や、契約時の資料提供、口頭での説明をしている
	51	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月のレターの他、活動概要や行事予定は利用予定表を通してお知らせし、日々の活動はブログやインスタグラムで発信している
	52	個人情報に十分注意しているか	○		利用者同意書を取り交わし、ブログへ掲載する写真の取り扱い、保護者との会話の取り扱いなど、十分に注意していく
	53	HP等へ写真を掲載することについて、同意書等へサインをいただくなどして同意を得られているか	○		契約時に同意書にサインしていただき、保護者から同意を得ている
	54	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		絵カード・写真カード等を用いて意思の疎通を計っている
55	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		町内に畑をお借りし、近隣の高齢者や地域の皆様と一緒に作業を行っている。地域の方には畑仕事を教えていただいたり、その収穫物と一緒にイベントを行っている	
非常時等の対応	56	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアルを設置し、職員や保護者が閲覧できるようにしており、周知に努めている
	57	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		BCPは策定しており、定期的に行われる委員会にて見直しを行っている。消防への届出を年2回行っている。その他の月には避難訓練を行い、災害への意識が薄れないようにしている
	58	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		法人での研修を年1回、その他必要な時間を確保し、虐待防止研修をこまめに行い、職員間で共有している。また、委員会も設置し、情報の共有、適切な支援方法の理解を深めている
	59	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、個別支援計画に記載しているか	○		現在までは身体拘束の事例がなく、計画を作成する利用者がいないが、身体拘束時の対応方法については共有済み
	60	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		契約時に確認している
	61	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		食物アレルギーがある利用者については、医師の診断をもとに保護者と相談しながら、対応方法を決定している
	62	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	○		安全計画は作成しており、定期的に見直しを行っている。また、研修も定期的に行っている
	63	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	○		定期的にLINEにて配信している
	64	ヒヤリハット記録を作成して事業所内で共有しているか	○		発生時の記録を作成し、全職員で共有している。月末には、全事業所で共有をしている